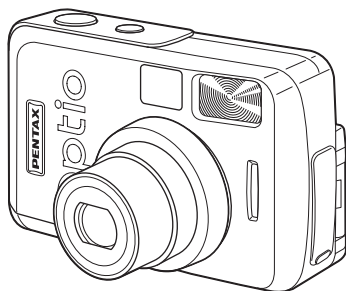
PENTAX®

デジタルカメラ

Optio 33LF

使用説明書

カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptio 33LFをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニタに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について

SDロゴは商標です。
PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。
オプティオおよびOptioはペンタックス株式会社の登録商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本製品はPRINT Image Matching IIに対応しています。PRINT Image Matching II対応プリンタでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。PRINT Image Matching及びPRINT Image Matching IIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニタの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

 警告 このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

 注意 このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

⚠ 警告

- カメラを分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SDメモリーカード／マルチメディアカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ACアダプタは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用下さい。専用品以外のACアダプタをご使用になったり、専用のACアダプタを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、電池またはACアダプタを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ACアダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。機器の破損・火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- 充電式のニッケル水素電池以外は充電しないでください。破裂・発火の恐れがあります。このカメラに使用できる電池の種類で、ニッケル水素電池以外は充電ができません。
- バッテリーの液が眼に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一、液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイドネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用や逸失利益等）については、保証しかねます。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SDメモリーカード／マルチメディアカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード／マルチメディアカード使用上の注意」（p.17）をご覧ください。
- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニタの表面を強く押さないでください。
- 液晶モニタを回転させるときは、回転方向に注意して、無理な力を加えないようにしてください。故障の原因になります。

目次

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。必ずお読みになり、撮影をはじめる前に、操作を行なってください。

2 クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、この操作方法をご利用ください。また、SDメモリーカード／マルチメディアカードの活用方法についてご案内しています。

3 機能共通操作

各ボタンの機能、メニューの使い方など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、「撮影」「再生・消去」「設定」の各章をご覧ください。

4 撮影

撮影モードを切り換えるバーチャルモードダイヤルの設定方法や撮影シーンに合わせて選択するピクチャーモード、さまざまな撮影の方法など、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

5 再生・消去

カメラ・テレビでの再生の方法や消去のしかたを説明しています。

6 設定

カメラに関する機能の設定方法について説明します。

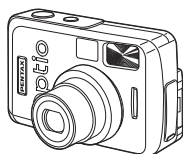
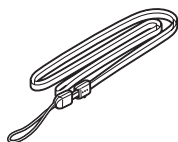
7 付録

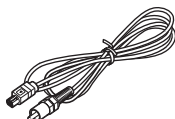
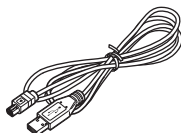
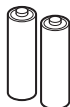
困ったときの対処のしかたや、別売品の案内をしています。

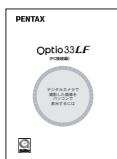
操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。
P, ピクチャーモード, 🄿, 🎥, ◐, ▮▮▮	タイトルの上に表示されたマークは、その機能が使える撮影モードを表します。 例） P ▮▮▮ ◐ **シャープネスを設定する**

1
2
3
4
5
6
7

主な同梱品の確認

本体
Optio 33LF

ストラップ
O-ST5（※）

ソフトウェア
（CD-ROM）S-SW12

ビデオケーブル
I-VC2（※）

USBケーブル
I-USB2（※）

単3形アルカリ
電池（2本）

使用説明書
（本書）

使用説明書
(PC接続編)

保証書

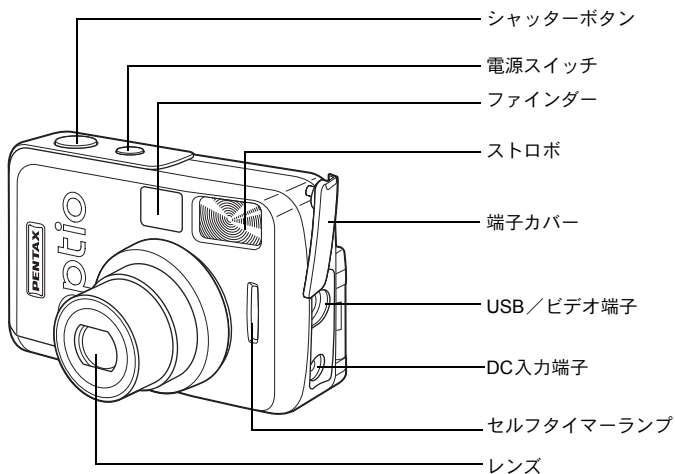
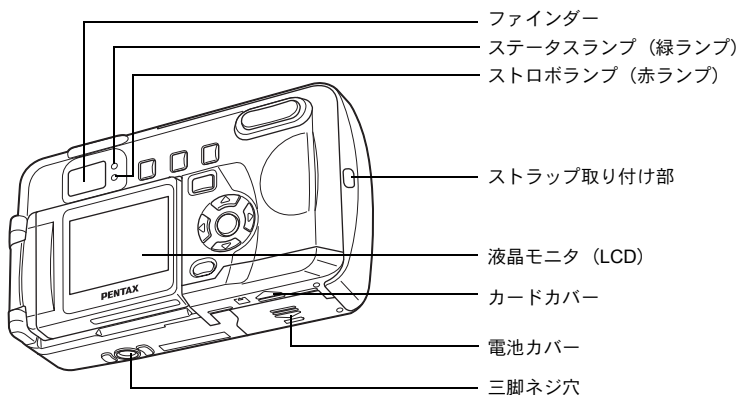
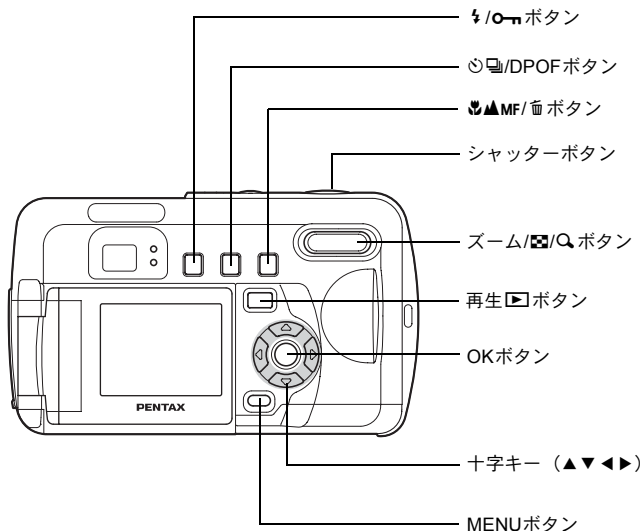
（※）の製品は、別売りアクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売りアクセサリーについては、「別売りアクセサリー一覧」（p.102）をご覧ください。

各部の名称

前面

シャッターボタン
電源スイッチ
ファインダー
ストロボ
端子カバー
USB／ビデオ端子
DC入力端子
セルフタイマーランプ
レンズ
PENTAX

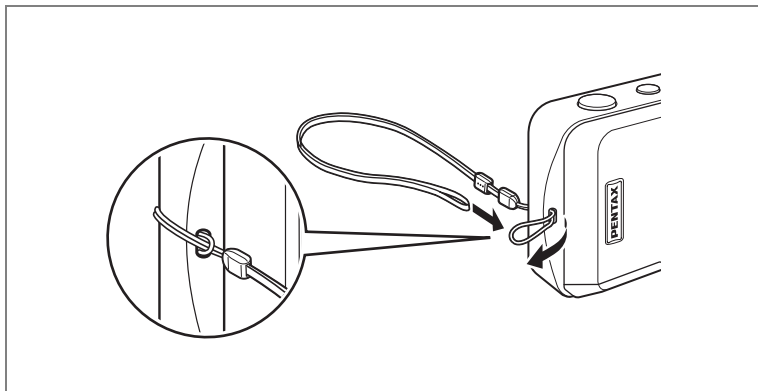
背面

ファインダー
ステータスランプ（緑ランプ）
ストロボランプ（赤ランプ）
ストラップ取り付け部
液晶モニタ（LCD）
カードカバー
電池カバー
三脚ネジ穴
PENTAX

操作部の名称

ガイド表示について

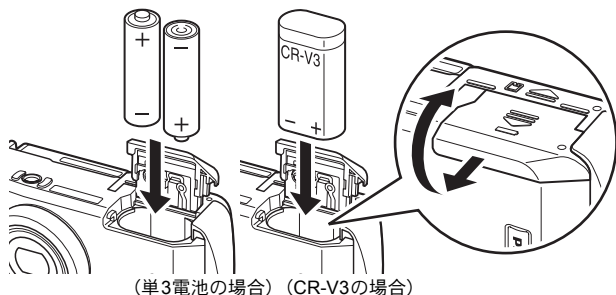
操作中は液晶モニタにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

十字キー （▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー （◀）	◀
十字キー（▶）	▶
OKボタン	OK

MENUボタン	MENU
ズーム//ボタン (デジタルズーム、拡大再生時のみ)	
ボタン	
ボタン	

ストラップを取り付ける

ストラップの細いひもを、ストラップ取り付け部に通して取り付けます。

電源を準備する

（単3電池の場合）（CR-V3の場合）

電池をセットする

カメラに電池をセットします。電池は単3アルカリ電池、単3 リチウム電池、単3ニッケル水素電池のいずれか2本か、CR-V3を1本使用します。

1　電池カバーを の方向にずらして、引き上げる

2　電池の向きを電池室内の⊕⊖表示に合わせて、挿入する

3　電池カバーを閉めて、水平方向に押し込む

長時間ご使用になるときは、ACアダプタキットK-AC5Jをご使用ください（p.14）。

- 単3アルカリ電池、単3リチウム電池、CR-V3は充電式ではありません。
- 電源スイッチがオンのときは、電池カバーを開けたり、電池を取り出したりしないでください。
- 長い間使わないときは、電池を取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、電池が液もれをすることがあります。
- 長時間電池を取り外して、新しく電池を入れたときに日時がリセットされていたら、「日時を設定する」（p.20）の手順に従って、設定しなおしてください。
- 電池は正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。

撮影可能枚数と再生時間（25℃・電池交換時）

●撮影（ストロボ使用率50%）

	撮影枚数
CR-V3	約 500 枚
単3リチウム	約 350 枚
ニッケル水素	約 250 枚
単3アルカリ	約 50 枚

●再生

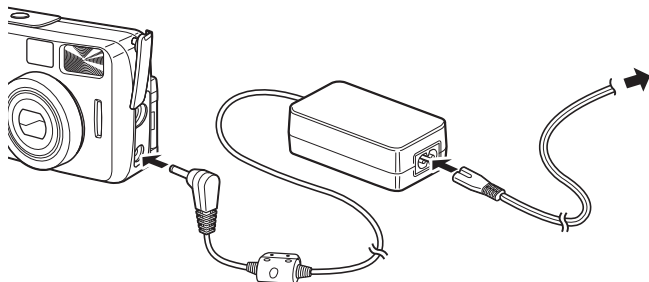
	再生時間
CR-V3	約 400 分
単3リチウム	約 300 分
ニッケル水素	約 150 分
単3アルカリ	約 60 分

• この数値は、当社の測定条件によるものです。撮影モード、撮影状況により異なります。

• 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下しますので、寒冷地で使用する場合は、予備の電池を用意して、衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、一旦低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
• 単3アルカリ電池は特性上、低温ではカメラの性能を十分に発揮できないことがあります。低温でご使用の際は、CR-V3など他の電池の使用をお勧めします。
• 海外旅行、寒冷地での撮影や写真をたくさん撮るときは、予備電池をご用意ください。
• 液晶モニタをオフにし、ファインダーを使って撮影すると、電池を長持ちさせることができます

電池の残量表示

液晶モニタに表示された▭で、電池の残量を確認できます。

▭（緑点灯）	：	電池がまだ十分に残っています。
↓		
▭（黄色点灯）	：	残量が少なくなった状態です。
↓		
▭（赤点灯）	：	残量がほとんどありません。
↓		
「電池容量がなくなりました」	：	メッセージの表示後、電源オフとなります。

ACアダプタを使用する

液晶モニタを長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプタキットK-AC5J（別売）のご使用をおすすめします。

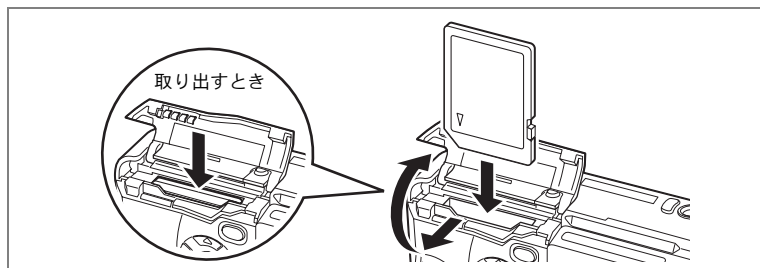
1　カメラの電源が切れていることを確認してから、端子カバーを開ける

2　ACアダプタのDC端子を、カメラのDC入力端子に接続する

3　ACコードをACアダプタに接続する

4　コンセントに電源プラグを差し込む

- AC アダプタを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行なってください。
- カメラやACアダプタ、ACコード端子、コンセントはしっかり差し込んでください。カメラがデータを記録、または読み出している間に接続部が外れると、データが破壊されます。
- ACアダプタをご使用になるときはACアダプタキットK-AC5Jの使用説明書をあわせてご覧ください。
- AC アダプタを接続して、カメラにセットされているニッケル水素電池を充電することできません。ニッケル水素電池の充電は、専用の充電器をご利用ください。

SDメモリーカード／マルチメディアカードをセットする／取り出す

このカメラで使用できるカードは、SDメモリーカードとマルチメディアカードです。撮影した画像は、SDメモリーカード／マルチメディアカードまたは内蔵メモリに記録されます。カードをセットして撮影したときはカードに、カードをセットしていないときは内蔵メモリに記録されます。SDメモリーカード／マルチメディアカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

セットする

1　カードカバーを の方向にずらして引き上げる

2　SDメモリーカード／マルチメディアカードのラベル（▲印のある）面を液晶モニタ側に向け、カチッと音がするまで押し込む

3　カードカバーを閉じる

取り出す

1　カードカバーを の方向にずらして引き上げる

2　SD メモリーカード／マルチメディアカードを矢印の方向に押し込む

カードが少し飛び出します。

3　カードを引き抜いて取り出す

4　カードカバーを閉じる

●記録サイズ／画質と撮影可能枚数の目安

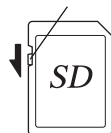
記録サイズ＼画質	S. ファイン／★★★	ファイン／★★	エコノミー／★	動画（320 × 240）
2048×1536	約 6 枚	約 12 枚	約 18 枚	約 65 秒
1600×1200	約 11 枚	約 20 枚	約 28 枚	
1024×768	約 25 枚	約 47 枚	約 62 枚	
640×480	約 57 枚	約 89 枚	約 119 枚	

- 表の数値は、16MBのSDメモリーカードを使用した場合の枚数です。
- マルチメディアカードを使用した場合、動画は最長30秒となります。
- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカード／マルチメディアカードなどにより変わります。

データバックアップのおすすめ

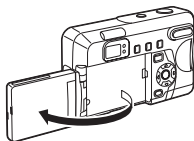
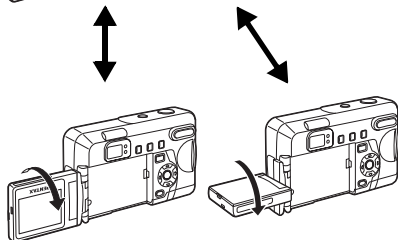
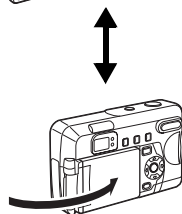
内蔵メモリに記憶したデータは、まれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータはパソコンなどを利用して、内蔵メモリとは別の場所に保存しておくことをおすすめします。

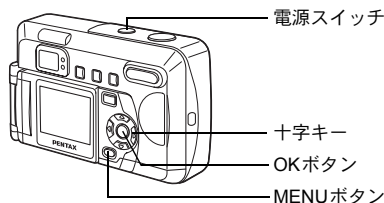
SDメモリーカード／マルチメディアカード使用上の注意

- カードカバーを開けるときは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側に切り替えると、新たにデータ記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。

- 動作確認済みのSDメモリーカード／マルチメディアカードについては、当社ホームページでご確認いただくか、当社お客様相談センターにお問い合わせください。
- カメラ使用直後にSDメモリーカード／マルチメディアカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SD メモリーカード／マルチメディアカードへのデータ記録中や、画像の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカード／マルチメディアカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- 未使用または他のカメラなどで使用したカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「カード／内蔵メモリをフォーマットする」（p.86）をご覧ください。
- SD メモリーカード／マルチメディアカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカード／マルチメディアカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカード／マルチメディアカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカード／マルチメディアカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SDメモリーカード／マルチメディアカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、ACアダプタやバッテリーを抜いたとき
- SDメモリーカード／マルチメディアカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や、保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。

液晶モニタを回転させる（フレキシブル液晶モニタ）

液晶モニタを左右に180°、上下に270°回転させることができます。
セルフポートレートを撮影するときなど、画面を確認しながら撮影することができます。
液晶モニタが回転すると、画面表示も連動して変わります。

- 左右方向に180゜回転させることができます。
- 上下方向に270゜回転させることができます。
- デジタルカメラを使用しないときは、液晶モニタを保護するために、液晶モニタ部を裏面（表面：PENTAXロゴ）に回転させて収納することができます。

液晶モニタを回転させるときは、無理な力を加えないでください。

初期設定をする

カメラの電源を入れたときに、以下のような画面が表示されたら、☞の手順に従って初期設定をしてください。

- Initial Setting（初期設定）の画面が表示された場合☞ p.19〜p.21「言語を設定する」「日時を設定する」
- 日時設定の画面が表示された場合☞ p.20〜p.21「日時を設定する」

上記のような画面が表示されない場合は、初期設定をする必要はありません。

言語を設定する

使用する言語を日本語に設定します。

1　十字キー（◀▶）を押して、「日本語」を選ぶ

「日本語」を選んだときにTYO（都市）、OFF（夏時間）、NTSC（ビデオ出力）が右図のように表示されていたら、手順5に進んでください。

2　十字キー（▼）を押す

青の選択枠が都市に移動します。

3　十字キー（◀▶）を押して、TYO（東京）を表示させる

4　手順2、3を繰り返して、夏時間をOFF、ビデオ出力をNTSCに設定する

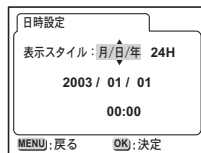
5　OKボタンを押す

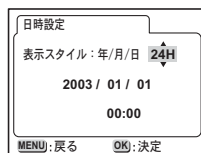
日時を設定する画面が表示されます。

1
準備

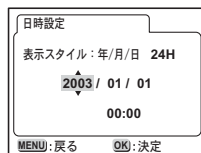
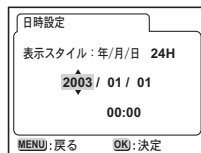
日時を設定する

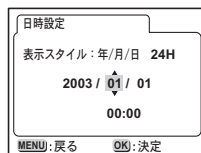
日時の表示スタイルと現在の日付／時刻を設定します。

1　十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

2　十字キー（▶）を押す

「24h」の上下に▲▼が表示されます。

3　十字キー（▲▼）を押して、24H（24時間表示）または12H（12時間表示）を設定する

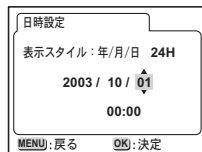
4　十字キー（▶）を押す

「西暦年」の上下に▲▼が表示されます。

5　十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

6　十字キー（▶）を押す

「月」の上下に▲▼が表示されます。

7 十字キー（▲▼）で月を設定し、十字キー（▶）を押す

「日」の上下に▲▼が表示されます。

日時設定
表示スタイル：年/月/日　24H
2003 /　10 /　01
00:00
MENU：戻る　OK：決定

8 手順7を繰り返して、「日」「時」「分」を設定する

9 設定が終了したら、OKボタンを押す

撮影できる状態になります。メニュー操作で設定した場合はメニュー画面に戻りますので、もう一度OKボタンを押してください。

- 初期設定の途中で MENU ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。
- ここで設定した内容は、設定後メニュー操作で変更することができます。メニューの呼び出し方は「日付の表示スタイル・日付／時刻を変更する」（p.87）をご覧ください。

静止画を撮影する

簡単に静止画を撮影します。初期設定では、ストロボは明るさに応じて自動的に発光します。

1 電源スイッチを押す

電源がオンになります。
1秒間、①の画面が表示されたのち、②の撮影画面が表示されます。

①

1秒後

②

2 液晶モニタを見る

液晶モニタの中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。ズームボタンを押すことで、写る範囲を変えることができます。

フォーカスフレーム

♠ 被写体が大きく写ります。
♠♠♠ 被写体が小さく写ります。

ファインダーをのぞいて、被写体の大きさを確認することもできます。

3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、フォーカスフレームとステータスランプ（緑）が点灯します。

4 シャッターボタンを全押しする

撮影した画像が液晶モニタに0.5秒間表示（クイックビュー）されます。撮影した画像はSDメモリーカード／マルチメディアカード、または内蔵メモリに保存されます（保存中はファインダー横の赤ランプが点滅します）。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

●半押し

シャッターボタンを軽く押すと（半押し)、ピント位置、露出がロックされます。シャッター速度、絞り値は、シャッターボタンを半押ししたときだけ表示されます。液晶モニタやステータスランプ、ストロボランプは次のような情報を表します。

1.**フォーカスフレーム**

ピントが合うと枠が緑色に点灯します。ピントが合っていないときは表示されません。

2.**ステータスランプとストロボランプ**

	ステータスランプ（緑）	ストロボランプ（赤）
点灯	ピントが合っています	ストロボ発光表示
点滅	ピントが合っていません	充電中

ストロボ充電中は撮影できません。

●全押し

シャッターボタンを下まで押すと（全押し)、撮影されます。

[ピント合わせの苦手な条件]

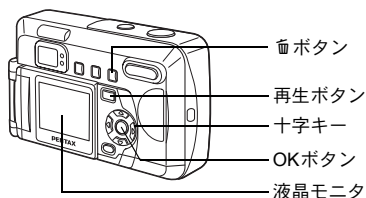
写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときは一旦撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定(シャッターボタン半押し)したまま、構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 横線のみや細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光(周辺が特に明るい場合)

クイックビュー

撮影直後に画像が表示される「クイックビュー」は、初期設定では0.5秒間表示されます。クイックビューの表示時間が1秒以上のとき、画像表示中に🗑ボタンを押すと、「消去」メニューが表示されます。「消去」を選び、OKボタンを押すとその画像を消去することができます。

クイックビューの表示時間を設定する ☞ p.49

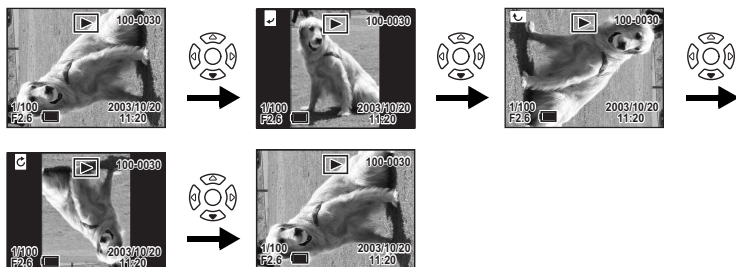
静止画を再生する

画像を再生する

静止画を再生します。

1　撮影後に再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

表示した画像をを回転させるには

画像表示中に十字キー（▼）を押すたびに、時計方向に90度ずつ画像が回転します。

• 動画は回転させることができません。

前後の見たい画像を再生する

静止画を前後に一枚ずつ送って再生します。

1　撮影後に再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

◀ 前の画像が表示されます。

▶ 次の画像が表示されます。

表示した画像を消去するには

画像表示中に🗑ボタンを押すと、消去画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」を選び、OKボタンを押すとこの画像を消去することができます。
もう一度再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、撮影できる状態に戻ります。

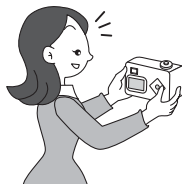
- 再生ボタンを押すと「ファイルNo.」の数字の最も大きいファイルが最初に表示されます。
- 液晶モニタに表示された画像は、ズーム/⊞/🔍ボタンで拡大して見ることもできます。
- 再生ボタンを押しながら電源をオンにすると、再生専用モードで起動します。再生専用モードではレンズが前に出ないで起動するので、その場で他の人に画像を見てもらうときに、レンズに触ることなく、安心して見ることができます。「撮影モード」に切り替えるには、一旦電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。
- 動画は、1コマ目の画像が表示されます。
- 画像が保存されていないときは、「画像がありません」と表示されます。

拡大して再生する☞ p.70

SDメモリーカード／マルチメディアカードの活用方法

このカメラで撮影した画像は内蔵メモリの他、SDメモリーカード／マルチメディアカードに記録することができます。SDメモリーカード／マルチメディアカードに記録された画像は、カメラ本体で見たり、パソコンに転送したり、プリントしたりできます。

カメラで見る

デジタルカメラの便利なところは、撮ったその場ですぐに画像を確認できること。構図や明るさを確認して、失敗してもまた撮り直しできます。

静止画を再生する☞ p.70

テレビで見る

みんなでわいわい見るときは、テレビ再生が便利。ビデオケーブルでカメラをテレビに接続すると、画像をテレビ画面で見ることができます。

テレビで画像を見る☞ p.80

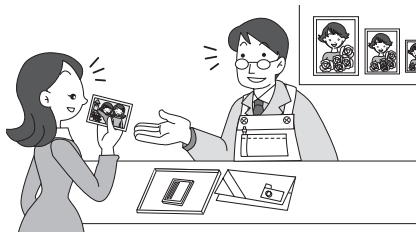
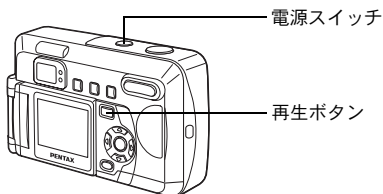
パソコンで見る

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続して、画像を読み込ませるだけで、撮った画像をパソコンで見たり、加工したりできます。また、カメラからSDメモリーカード／マルチメディアカードを取り出してカードリーダを使ってデータを転送したり、ノートパソコンの場合は、カードをセットしたカードアダプタをカードスロットに挿入して画像データを転送できます（カメラからSDメモリーカード／マルチメディアカードを取り出して、他の機器を利用して画像を転送する場合は、お使いになる機器の使用説明書もご覧ください）。

☞ 別冊「デジタルカメラで撮影した画像をパソコンで表示するには」

プリントサービスで見る

画像を記録したSDメモリーカード／マルチメディアカードをプリント取扱い店に持っていくと、従来の写真と同様にプリント注文できます。あらかじめDPOF(Digital Print Order Format)の設定をしてからDPOF対応のプリント取扱い店に持っていくと、プリント枚数を指定したり、写真に日付を入れることができます。

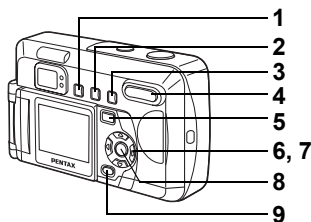
プリントサービスの設定をする（DPOF）☞ p.81

電源をオン／オフする

1　電源スイッチを押す

電源がオンになります。電源をオンにすると、レンズカバーが開き、レンズが前に出ます。
もう一度電源スイッチを押すと、電源がオフになります。

再生専用モード

再生ボタンを押しながら、電源をオンにすると、「再生専用モード」で起動します。
- 「再生専用モード」で起動させると、レンズは閉じたままで前に出てきません。
- 「再生専用モード」から「撮影モード」へ切り替えるには、一旦電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。

静止画を再生する☞ p.24

ボタンの機能を使用する

撮影モード時

1　⚡ボタン

ストロボの発光方法を切り替えます。(☞ p.39)

2　⏲▣ボタン

セルフタイマー撮影、連続撮影を選びます。(☞ p.64, 63)

3　🌷▲MFボタン

撮影方法を次のように切り替えます。(☞ p.37)
　マクロモード、遠景モード、マニュアルフォーカス

4　ズームボタン

写る範囲を変えます。(☞ p.65)

5　再生ボタン

再生モードに切り替えます。(☞ p.36)

6　十字キー（◀▶）

露出補正をします。(☞ p.53)
カスタム機能設定で他の機能を割り当てることもできます。(☞ p.93)
MFモードでピントを合わせます。(☞ p.38)

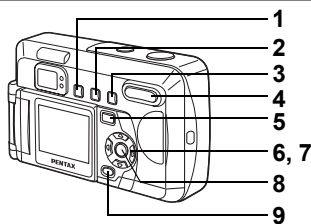
7　十字キー（▲▼）

バーチャルモードダイヤルを表示して撮影モードを切り替えます。(☞ p.36)

8　OKボタン

撮影画面ではディスプレイモードを切り替えます。(☞ p.40)
メニュー画面ではメニュー項目を決定します。

9　MENUボタン

「撮影機能」「再生機能」「詳細設定」のメニュー項目を表示します。(☞ p.31)

再生モード時

1　O┓ボタン

画像を消去できないようにしたり、画像を表示できないようにします。（☞ p.78）

2　DPOFボタン

DPOFの設定を行います。（☞ p.81）

3　🗑ボタン

画像を消去します。（☞ p.76）

4　ズーム/▦/🔍ボタン

「通常再生」時に▦を押すと、一度に9画像を表示します。（☞ p.74）
「拡大再生」時に液晶モニタに表示される画像の大きさを変えます。（☞ p.70）

5　再生/▶ボタン

撮影モードに切り替えます。

6　十字キー（◀▶）

前後の見たい画像を表示します。（☞ p.25）

7　十字キー（▲▼）

再生中の画像を右回り／左回りに90°、180°、270°回転させて表示します。（☞ p.24）

8　OKボタン

再生画面ではディスプレイモードを切り替えます。（☞ p.73）
メニュー画面ではメニュー項目を決定します。

9　MENUボタン

「撮影機能」「再生機能」「詳細設定」のメニューを表示します。（☞ p.31）

MENU画面で機能を設定する

MENUボタンを押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。メニューを使用して、機能の設定や設定した内容をメモリ（保存）したり、カメラの設定を変更することができます。

メニューの操作方法

メニュー操作中は、液晶モニタにガイドが表示されます。

1　MENUボタンを押す

メニュー画面が表示されます。選択されている部分は枠で表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

十字キー（◀▶）でメニュー画面が切り替わります。

3　十字キー（▲▼）で項目を選択する

十字キー（▲▼）で選択枠が上下に移動します。

4　十字キー（◀▶）で設定を切り替える
または選択画面があるときは、十字キー（▶）で選択画面に移行する

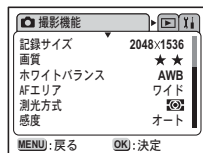
設定が終了したら、OKボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

5　OKボタンを押す

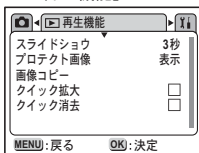
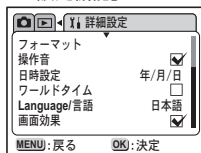
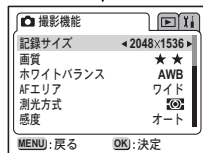
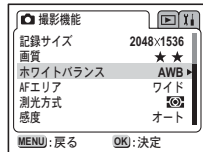
設定が保存され、撮影または再生できる状態に戻ります。

OKボタンを押してメニュー画面を閉じても、電源をオンにしたまま電池を取り出したりするなど誤った操作で電源をオフにすると、設定は保存されません。

操作の一例（撮影モードでMENUボタンを押した場合）

1 MENUボタン
「撮影機能」メニュー

2
「再生機能」メニュー

2
「設定機能」メニュー

3

3

4

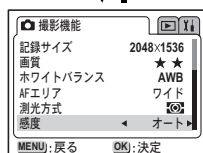
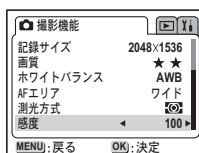
選択画面

3

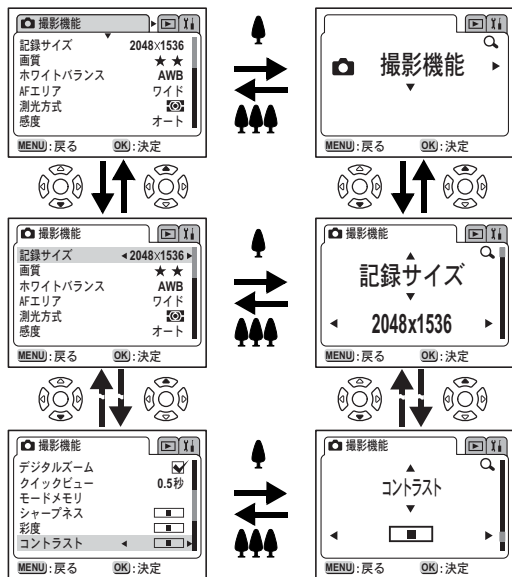
4

3

次のメニュー画面

3 機能共通操作

メニューの表示を拡大する

メニュー表示中にズームボタン（🌲）を押すと、メニューが拡大されて表示されます。ズームボタン（🌲🌲🌲）を押すと、元の表示に戻ります。

操作の一例

- メニュー表示中にシャッターボタンを半押しすると撮影モード（再生専用モードの場合は再生画面）に切り替わります。
- 撮影モードからメニューを表示させると「📷 撮影機能」メニューが表示され、再生モードからメニューを表示させると「▶ 再生機能」メニューが表示されます。
- 拡大表示のまま電源をオフにした場合、次に電源をオンにし、MENUボタンを押すと、メニューは拡大表示されます。

メニュー一覧

「撮影機能」メニュー

○…設定の変更が可能です（＊の機能は、ピクチャーモードでの設定変更は無効です）
×…設定の変更は無効です

項目	内容	初期値	ピクチャーモード	動画	参照
記録サイズ	画像の画素数が選べます	2048×1536	○	320×240に設定	p.42
画質	画像の圧縮率が選べます	★★	○	×	p.43
ホワイトバランス	撮影時の光の状態に合わせて色を調整します	AWB	○(＊)	○	p.44
AFエリア	オートフォーカスの対象になる範囲を変更します	ワイド	○	×	p.46
測光方式	露出を決定する測光方式を設定します	（分割）	○	×	p.47
感度	感度を設定します	オート	○	×	p.48
デジタルズーム	デジタルズーム撮影ができます	（オン）	○	○	p.66
クイックビュー	クイックビューの表示時間を設定します	0.5秒（0.5秒）	○	×	p.49
モードメモリ	電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリします		○	○（注）	p.68
シャープネス	シャープネスを設定します	標準	○(＊)	×	p.50
彩度	彩度を設定します	標準	○(＊)	×	p.51
コントラスト	コントラストを設定します	標準	○(＊)	×	p.52
露出補整	-2.0～+2.0の間で露出を補整します	0.0	○	○	p.53

（注）：で設定できない機能（ストロボ、フォーカス方式）はモードメモリされません。

「×」の項目は、メニュー画面上では設定を変更できますが、動作には反映されません。

「▶再生機能」メニュー

項目	内容	初期値	参照
スライドショウ	保存された画像を連続して再生します	3秒（3秒間隔）	p.75
プロテクト画像	プロテクト画像に設定したファイルの表示／非表示を設定します	表示	p.79
画像コピー	内蔵メモリとSDメモリーカード／マルチメディアカードの間でファイルをコピーします。	内蔵メモリ→メモリカード	p.84
クイック拡大	オンに設定すると、ズームボタン（♠）を押すたびに、1倍、2倍、4倍、8倍、12倍と再生画像が拡大します	□（オフ）	p.71
クイック消去	オンに設定すると、「消去」が選択された状態で消去画面が表示されます。	□（オフ）	p.76

「詳細設定」メニュー

項目	内容	初期値	参照
フォーマット	SDメモリーカード／マルチメディアカードまたは内蔵メモリをフォーマットします	キャンセル	p.86
操作音	ボタン操作音を設定します	☑（オン）	p.87
日時設定	日付／時刻を設定します	年／月／日	p.87
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します	□（オフ）	p.88
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます	日本語	p.89
画面効果	液晶画面の表示を流れるように表示させます	☑（オン）	p.90
背景色	液晶画面の背景を設定します	青	p.90
オートパワーオフ	節電機能を設定します	3分	p.91
LCDの明るさ	液晶モニタの明るさを設定します	標準	p.91
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します	NTSC	p.92
画面設定	電源オン時の起動画面および電源オフ時の終了画面を設定します	青	p.92
カスタム機能	撮影モード時の十字キー（◀▶）の機能を変更します	☒（露出補正）	p.93
リセット	設定を初期値に戻します	キャンセル	p.94

撮影のための機能を設定する

モードを切り替える

撮影ができる状態を撮影モード、再生や消去ができる状態を再生モードといいます。

撮影モードと再生モードを切り替える

- 撮影モードから再生モードへは、再生ボタンを押して切り替えます。
- 再生モードから撮影モードへは、再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しして切り替えます。

撮影モードを選ぶ

撮影モードはバーチャルモードダイヤルを表示して選択します。6種類の撮影モードがあります。

P	プログラムモード	すべての機能を設定して撮影できます。	p.54
(初期値)	ピクチャーモード	撮影するシーンにあわせた設定で撮影します。7種類のピクチャーモードが用意されています(初期値はです)。	p.55
	夜景モード	夜景など暗いシーンを撮影します。	p.57
	動画モード	動画を撮影します。	p.58
	パノラマアシストモード	パノラマを設定して撮影します。	p.60
	デジタルフィルタモード	カラーフィルタを設定して撮影します(初期値は白黒です)。	p.62

1　撮影モードで十字キー(▲▼)を押す

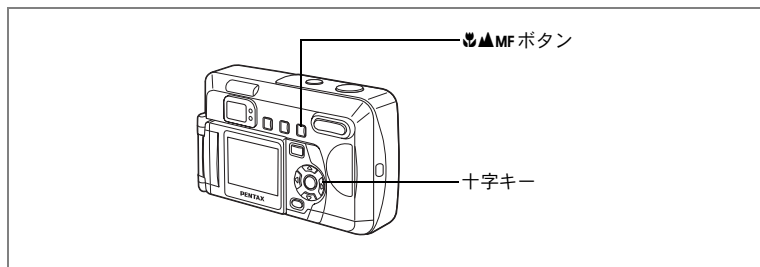
バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2　十字キー(▲▼)で設定したいモードを選ぶ

絵記号が拡大表示されます。
「ピクチャーモード」「デジタルフィルタモード」の場合は、さらに十字キー(▶)を押して詳細を設定します。

プログラム P
OK:決定

3　OKボタンを押す

選んだ撮影モードのアイコンが表示され、撮影できる状態に戻ります。

フォーカスの設定を変える

フォーカスモード

（表示なし）	オート	シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。被写体までの距離が40cm以上のときに使用します。
🌷	マクロ	被写体までの距離が約10cm～50cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AF エリアにあるものにピントを合わせます。
▲	遠景	遠くにあるものを撮影するときに使用します。
MF	マニュアル	手動でピントを合わせます。

1 撮影モードで🌷▲MFボタンを押す

🌷▲MF ボタンを押すたびにフォーカスモードが切り替わり、設定値が液晶モニタに表示されます。
設定したフォーカスモードで撮影できます。

- フォーカスモードの初期値は「オート」です。
- 動画モード（☞ p.58）では「オート」のみになります。

マニュアルでフォーカスを設定する

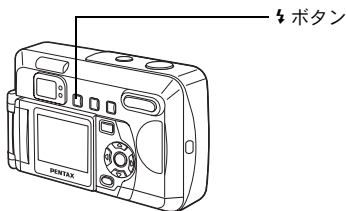
MF 時は、十字キー（◀▶）を押すと画面中央部が拡大し、液晶モニタいっぱいに表示されます。
表示されたモニタ画像を見ながら、十字キー（◀▶）でピントを合わせます。

▶ 遠くにピントが合います。

◀ 近くにピントが合います。

フォーカス位置が決まったら、十字キー（◀▶）以外のボタンを押すか、または十字キーから指を離して約2秒たつと、通常の撮影画面に切り替わります。

- 設定しているときに、十字キー（◀▶）を押し続けると、速くピント合わせができます。
- デジタルズーム使用時は倍率の大きい方に合わせ拡大表示されます。

フォーカスモードを保存する☞ p.68

ストロボの発光方法を選択する

（表示なし）	オート	暗い場所や逆光での撮影時に自動的にストロボが発光します。
	発光禁止	常にストロボは発光しません。
	強制発光	常にストロボが発光します。
	オート＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。自動的にストロボが発光します。
	強制発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。 常にストロボが発光します。

- 撮影モードが にセットされているか、連続撮影、または遠景モードに設定されているときは、常に発光禁止になります。
- ストロボ撮影時には、測光のための補助光として撮影前に必ずストロボを一度発光させます。
- 「オート＋赤目軽減」または「強制発光＋赤目軽減」では、撮影の前に、瞳を小さくさせるためにストロボを一度発光させ、少し間をおいてからストロボ撮影をします。

1　撮影モードで ボタンを押す

押すたびに発光方法が切り替わり、マークが液晶モニタに表示されます。
設定したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

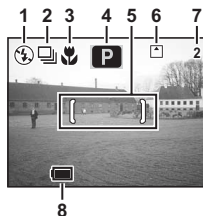
ステータスランプとストロボランプの状態☞ p.23
ストロボ発光方法を保存する☞ p.68

撮影情報を表示する（ディスプレイモード）

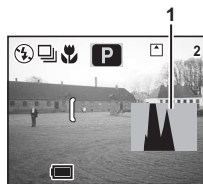
OKボタンを押すたびに、液晶モニタの表示が切り替わります。

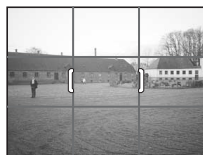
通常表示

電源をオンしたときに表示される状態です。
撮影情報を表示します。

1 ストロボ　2 撮影方法
3 フォーカスモード　4 撮影モード
5 AFフレーム　6 カード／内蔵メモリ
7 撮影可能残量　8 バッテリーマーク

ヒストグラム表示

明度分布を表示します。
横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1 ヒストグラム

グリッド表示

グリッド（格子）を表示します。
撮影情報は表示しません。

情報表示なし

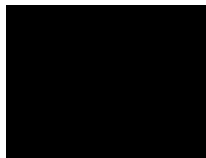
撮影情報を表示しません。

- オートフォーカス、🌷時には、AFフレームが表示されます。
- 設定を変更したときは、数秒間、設定内容を表示します。

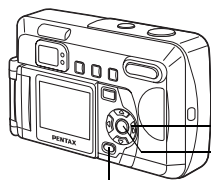
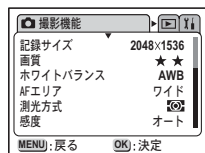
液晶モニタオフ

4
撮影

液晶モニタオフ

液晶モニタをオフにします。（再生モードでは、液晶モニタをオフにはできません。）

- 液晶モニタオフのときに、❀、MF に切り替えると、自動で通常表示に切り替わります。

- 🎥、▮■▮、◐ では、液晶モニタをオフにはできません。

ディスプレイモードの設定を保存する☞ p.68

P ピクチャーモード

記録サイズを選択する

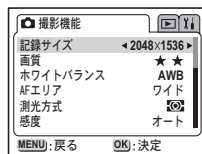
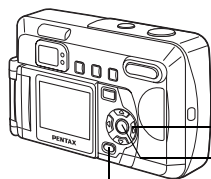
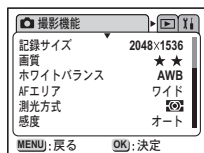
画像の記録画素数を「2048×1536」「1600×1200」「1024×768」「640×480」から選べます。
画素数が多くなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。
また、画像の容量は設定している画質によっても異なります。

2048×1536	A4サイズでの印刷などに適しています。
1600×1200	A5サイズでの印刷などに適しています。
1024×768	はがきサイズでの印刷などに適しています。
640×480	電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

1 「撮影機能」メニューの「記録サイズ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で記録サイズを切り替える

3 OKボタンを押す

撮影ができる状態になります。

- 「動画モード」では「320×240」に固定されます。
- 記録サイズを大きくすると、より高精細な画像でプリントできます。

P ピクチャーモード

画質を選択する

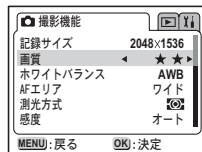
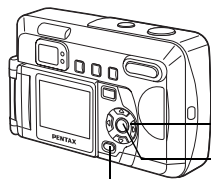
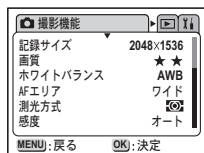
画像の圧縮率が選べます。
★の数が多いほど、画質はきれいになり、画像の容量も増えます。
また、画像の容量は、設定している記録サイズによっても異なります。

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、A4サイズなど大きな写真のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、写真のプリントおよびパソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

1 「撮影機能」メニューの「画質」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で画質を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

ホワイトバランスを調整する

撮影時の光の状態に応じて画像を自然な色あいに調整できます。

AWB	オート	調整をカメラにまかせます。
☼	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
⌂	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
☀	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
〓	蛍光灯	蛍光灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
⊔	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。

1 「撮影機能」メニューの「ホワイトバランス」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ホワイトバランス選択画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で設定を切り替える。

4 OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

ホワイトバランスを保存する☞ p.68

ピクチャーモードでは設定を変えることができますが、撮影には反映されません。

4 撮影

マニュアルで設定する

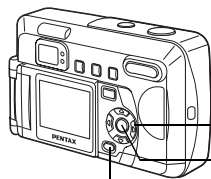
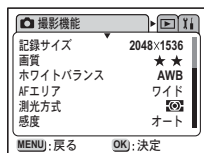
1　ホワイトバランス選択画面で㊣（マニュアル）を選ぶ

2　白い紙等を画面いっぱいに入れる

3　OKボタンを押す

ホワイトバランスが自動調整されます。調整が終了すると「完了」と表示され、メニュー画面に戻ります。

4　OKボタンを押す

撮影できる状態に戻ります。

P ピクチャーモード

オートフォーカス範囲を設定する

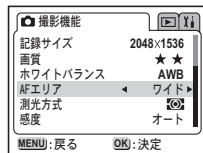
オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を変更できます。

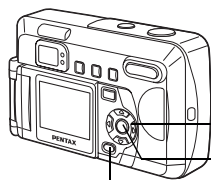
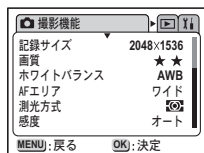
ワイド	通常範囲
スポット	フォーカスが合う範囲を狭くします。

1 「撮影機能」メニューの「AFエリア」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で AF エリアを切り替える

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

AFエリアの設定を保存する☞ p.68

4 撮影

P ピクチャーモード

測光範囲を設定する

画面のどの部分で明るさを測り、露出を決定するのかを設定します。

	分割	画面全体をきめ細かく測光して露出を決定します。
	中央部重点	画面中央を重点的に測光して露出を決定します。
	スポット	画面の中央のみを測光して露出を決定します。

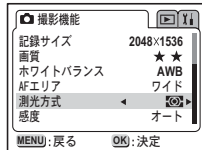
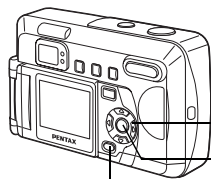
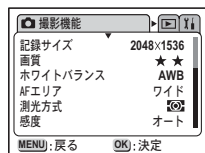
1 「撮影機能」メニューの「測光方式」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で測光方式を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

測光方式を保存する☞ p.68

4 撮影

ピクチャーモード

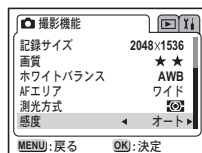
感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定することができます。

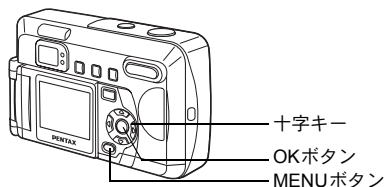
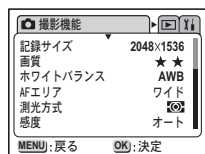
オート	設定をカメラにまかせます。
100	• 感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ないシャープな画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 • 感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッター速度を速くできます。画像にはノイズが増えます。
200	
400	

1 「撮影機能」メニューの「感度」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で感度を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

オートで設定される感度は100と200のみになります。

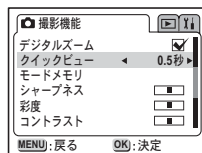
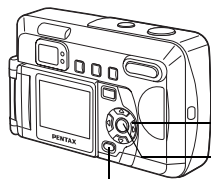
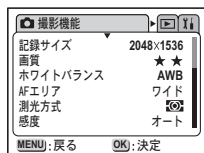
感度設定を保存する☞ p.68

ピクチャーモード

クイックビューの時間を設定する

クイックビューの表示時間を0.5秒、1秒、2秒、3秒、5 秒、OFF（表示しない）から選べます。

1　「撮影機能」メニューの「クイックビュー」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）で表示時間を切り替える

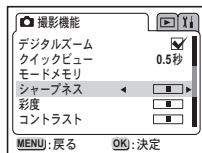
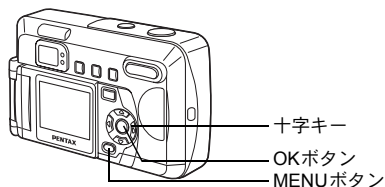
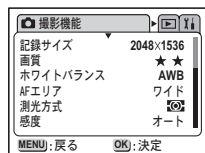
3　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

シャープネスを設定する

画像の輪郭をシャープまたはソフトにします。

1 「撮影機能」メニューの「シャープネス」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で（標準）、（シャープ）、（ソフト）を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

彩度を設定する

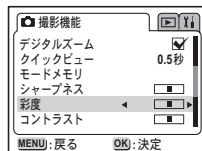
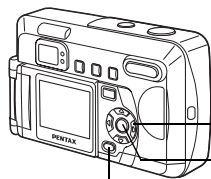
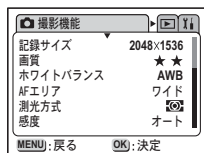
色の鮮やかさを設定します。

1 「撮影機能」メニューの「彩度」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で（標準）、（高）、（低）を切り替える

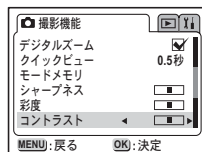
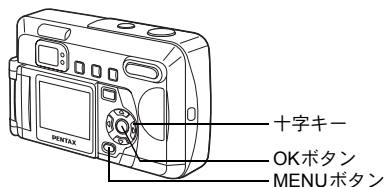
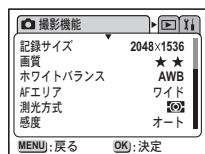
3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

4 撮影

コントラストを設定する

画像の明暗差を設定します。

1 「撮影機能」メニューの「コントラスト」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で（標準）、（高）、（低）を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

P ピクチャーモード

露出を補正する

意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影します。

1 「撮影機能」メニューの「露出補正」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で露出を選ぶ

明るくする場合は＋側を、暗くする場合は－側を設定します。
露出補正の値は、－2.0EV～+2.0EVの範囲を1/3EV単位で選択できます

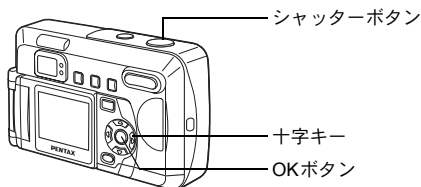
3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

露出補正値を保存する☞ p.68

十字キー（◀▶）には、カスタム機能の初期設定で露出補正が設定されています。（☞ p.93）

撮影する

SDメモリーカード／マルチメディアカードをセットしているときは、画像はすべてカードに記録されます。
カードをセットしていないときは、カメラの内蔵メモリに記録されます。

機能を設定して撮影する（プログラムモード）

プログラムモード（P）では、すべての機能を設定して撮影できます。

1 撮影モードで十字キー（▲▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2 十字キー（▲▼）でプログラムモード（P）を選ぶ

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

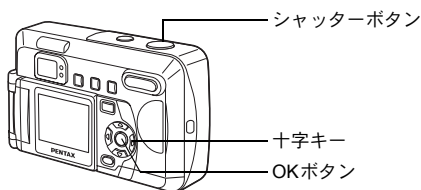
4 使用する機能を設定する

機能の設定のしかたは、「撮影のための機能を設定する」（p.36～p.52）をご覧ください。

5 シャッターボタンを押す

撮影されます。

静止画を撮影する☞ p.22

4 撮影

シーンにあわせた撮影をする（ピクチャーモード）

撮りたいシーンにあわせた設定で撮影します。

ピクチャーモードについて

ピクチャーモードには、以下の6つのモードがあります。

	風景（初期値）	風景写真をきれいに仕上げます。
	花	花の写真をきれいに仕上げます。
	ポートレート	人物をきれいに仕上げます。
	セルフポートレート	自分撮りやツーショット写真をきれいに仕上げます。
	サーフ	砂浜などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。
	スノー	雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。
	夕景	夕焼けや朝焼けの写真を美しく描写します。

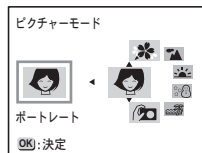
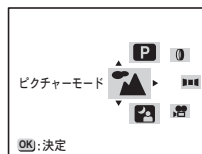
1　撮影モードで十字キー（▲▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2　十字キー（▲▼）でピクチャーモード（）ダイヤルを選び、十字キー（▶）を押す

ピクチャーモードダイヤルが表示されます。

3　十字キー（▲▼）で設定したいピクチャーモードの絵記号を選ぶ

4
撮影

4 OKボタンを押す

ピクチャーモードが選択されます。

5 シャッターボタンを押す

撮影されます。

メモ

- ピクチャーモードでは、シャッターボタンを半押しする、あるいは十字キー以外のボタンを押すことでも決定します。
- ピクチャーモードでは、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランスが自動的に各モードの最適な値に設定されます（設定値は変更することができますが、動作には反映されません）。

セルフポートレートで撮影する

セルフポートレートやツーショットでの撮影をするときに、液晶モニタを回転させ、液晶モニタに映る自分自身を確認しながら撮影できます。

1 ピクチャーモードでセルフポートレート（）を選んで、OKボタンを押す

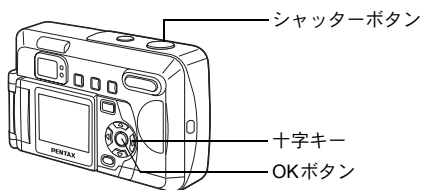
2 液晶モニタを回転させる

液晶モニタに映っている自分自身が確認できます。
液晶モニタを回転させると液晶モニタの画像も回転します。
撮影前には視線をレンズの方へ向けましょう。自然な表情で写ります。

3 シャッターボタンを押す

撮影されます。

- 撮影された画像は、回転せずに記録されます。
- 暗い所での撮影などシャッターボタンを押したときに手ぶれが起きる場合は、三脚等に固定してセルフタイマーをご利用ください。

液晶モニタを回転させる☞ p.18

暗いシーンを撮影する（夜景モード）

夜景など暗いシーンを撮影するのに適切な設定にセットされます。

1　撮影モードで十字キー（▲▼）を押す

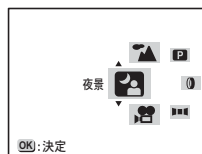
バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で、夜景モード（）を選ぶ

3　OKボタンを押す

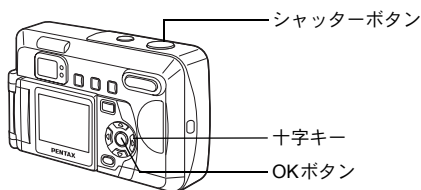
撮影できる状態になります。

4　シャッターボタンを押す

撮影されます。

シャッターボタンの押しかた☞ p.23
静止画を再生する☞ p.24

夜景など遅いシャッター速度での撮影では、撮影後に画像からノイズを取り除く機能が働くため、通常よりも撮影時間がかかります。

暗いシーンでの撮影ではシャッター速度が遅くなりますので、手ぶれしないよう、カメラを三脚等に固定して撮影してください。

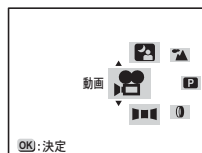
シャッターボタン
十字キー
OKボタン

動画を撮影する（動画モード）

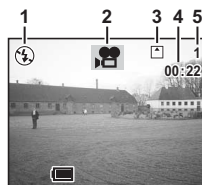
動画を撮影します。
SDメモリーカードまたは内蔵メモリ使用時は、容量がいっぱいになるまで続けて記録できます。
マルチメディアカード使用時は、一度に撮影できる時間（1セット）は、最長約30秒間です。
なお、音声の記録はできません。

1　撮影モードで十字キー（▲▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で動画モード（）を選ぶ

3　OKボタンを押す

1 発光禁止マーク
2 動画モードアイコン
3 カード／内蔵メモリ
4 撮影可能時間
5 残りセット数（マルチメディアカード使用時）

4
撮影

4 シャッターボタンを押す

撮影が開始されます。ズームボタンで画像の大きさを切り替えることができます。

🌲 被写体が大きく写ります。

🌲🌲🌲 被写体が小さく写ります。

5 シャッターボタンを押す

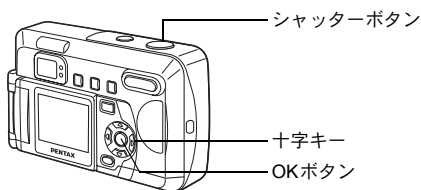
撮影が終了します。残り撮影可能時間が表示されます。

シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

動画を再生する☞ p.72

撮影した動画はAVI（Motion JPEG）形式で保存されます。付属のソフトウェア（ACDSee for PENTAX）を使って、パソコンでも簡単に再生できます。

- 動画モードでは、ストロボは発光しません。
- 動画モードでは、連続撮影はできません。
- 動画モードでは、液晶モニタをオフにできません。
- 動画モードで設定できるフォーカスモードは、「オート」のみです。

パノラマ撮影をする（パノラマアシストモード）

付属のソフトウェア（ACDSee for PENTAX）では、何枚かの写真をつなぎ合わせて、簡単にパノラマ写真を作成することができます。パノラマアシストモードで画像の端と端が重なるように撮影した写真を使ってつなぎ合わせると、1枚のパノラマ写真に仕上がります。

1　撮影モードで十字キー（▲▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2　十字キー（▲▼）でパノラマアシスト（▮■▮）を選ぶ

3　OKボタンを押す

4　十字キーでつなげる方向を選ぶ

◀ 画像を左につなぎます。
▶ 画像を右につなぎます。
▲ 画像を上につなぎます。
▼ 画像を下につなぎます。
ここでは▶を選んだ場合について説明します。

5　1枚目の画像を撮影する

シャッターボタンを押すと1枚目の画像が撮影され、1枚目の画像の右端が液晶モニタの左端に透過表示されます。

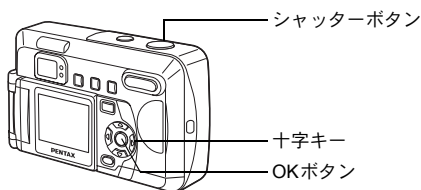
6 カメラを右に移動し2枚目の画像を撮影する

左端の透過表示に定画像表示が重なるようにカメラを移動し、シャッターを切ります。
3枚目以降の画像も同様にして撮影します。

7 OKボタンを押す

手順4の画面にもどります。

パノラマ撮影を中止するには、パノラマアシストモード以外のモードに切り替えてください。

- パノラマ写真の作成はカメラ本体ではできません。付属のソフトウェア（ACDSee for PENTAX）を使用します。パノラマ写真の作成については、別冊の「デジタルカメラで撮影した画像をパソコンで表示するには」を参照してください。
- パノラマアシストモードでは、連続撮影はできません。
- パノラマアシストモードでは、液晶モニタをオフにできません。
- パノラマ写真の作成にはWindowsパソコンが必要です。Macintoshではパノラマ写真の作成はできません。

フィルタを設定して撮影する（デジタルフィルタモード）

デジタルフィルタでは、赤、青、緑などさまざまな色をした色フィルタを使用して撮影をすることができます。

フィルタについて

フィルタには、白黒、セピア、赤色、緑色、青色、白黒＋赤、白黒＋緑、白黒＋青の8種類のフィルタがあります。デジタルフィルタモードで白黒、セピア、赤色、緑色、青色を選択すると、液晶モニタにはそれぞれの色フィルタの色味がかった画像が表示され、その色で画像が表示されます。

1　撮影モードで十字キー（▲▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で、デジタルフィルタモード（◍）を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

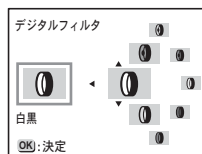
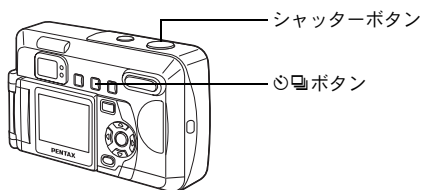
フィルタを選ぶ画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で使用するフィルタを選ぶ

5　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

6　シャッターボタンを押す

撮影されます。

P ピクチャーモード

連続して撮影する（連続撮影）

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。

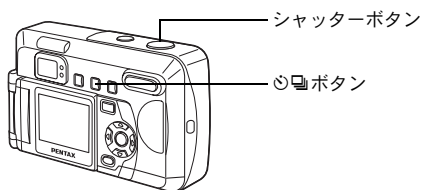
1　撮影モードで ボタンを押して液晶モニタに を表示させる

2　シャッターボタンを押す

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
シャッターボタンを離すと、撮影が終了します。

静止画を再生する☞ p.24

- SD メモリーカード／マルチメディアカードの容量がいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。

- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- 動画モード、パノラマアシストモードでは、連続撮影を利用できません。

P ピクチャーモード

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒後または2秒後に撮影します。

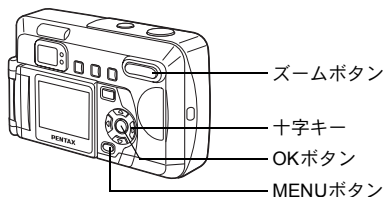
1 撮影モードでボタンを押して、液晶モニタにまたはを表示させる

2 シャッターボタンを押す

セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが約7秒間点灯します。セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約3秒後に撮影されます。

セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約2秒後に撮影されます。

- 液晶モニタでのカウントダウン表示も行われます。
- カウントダウン表示中に十字キーや MENU ボタンなどのボタンを押すと、セルフタイマーは解除されます。

静止画を再生する☞ p.24
セルフポートレートを撮影する☞ p.56

P ピクチャーモード

ズームを使って撮影する

ズームを使って撮影する範囲の望遠／広角撮影ができます。

1 撮影モードでズームボタンを押す

望遠：被写体が大きく写ります。
広角：被写体が小さく写ります。

ズームバー
デジタルズーム領域

デジタルズーム機能がオフのときは、3倍までの光学ズーム撮影となります。
デジタルズーム機能がオンのときは、被写体をさらに最大8倍相当まで拡大して撮影できます。

デジタルズーム時

設定したズーム位置を保存する☞ p.68

- デジタルズームを使用すると、画質は粗くなります。
- ズームの倍率を高くするほど、手ぶれが起きやすくなります。手ぶれを防ぐため、三脚などに固定してください。

デジタルズーム機能をオンにする

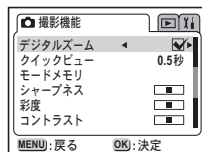
1　撮影モードでMENUボタンを押す

「📷撮影機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）押して☑（オン）を選ぶ

4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

液晶モニタをオフにすると、デジタルズーム機能がオンの状態でも、デジタルズームはオフになります。

注意

デジタルズームを使用する場合は、液晶モニタで構図を合わせてください。

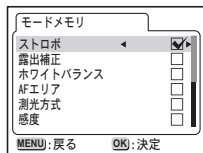
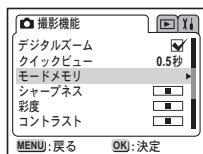
デジタルズーム機能のオン／オフを保存する☞ p.68

設定を保存する

メニュー項目を保存する（モードメモリ）

電源をオフにしたときに、撮影のために設定した値をメモリ（保存）するかどうかを選びます。「☑（オン）」を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリします。「□（オフ)」を選ぶと、電源をオフにしたときに初期値に戻ります。

項目	内容	初期値
ストロボ	ボタンで設定したストロボモードを保存します。	☑
露出補正	設定した露出補正値を保存します。	□
ホワイトバランス	「撮影機能」メニューの「ホワイトバランス」での設定を保存します。	□
AFエリア	「撮影機能」メニューの「AFエリア」での設定を保存します。	□
測光方式	「撮影機能」メニューの「測光方式」で設定した測光方式を保存します。	□
感度	「撮影機能」メニューの「感度」で設定した値を保存します。	□
デジタルズーム	「撮影機能」メニューの「デジタルズーム」での設定を保存します。	☑
フォーカス方式	設定したフォーカスモードを保存します。	□
ズーム位置	設定したズーム位置を保存します。	□
ディスプレイ	液晶モニタの表示モードを保存します。	□
ファイルNo.	ファイル番号を保存します。SDメモリーカード／マルチメディアカードを入れ替えた場合でも連番でファイル名を作成します。	☑

- 「モードメモリ」に含まれないメニュー項目は、電源をオフにした後も、各機能のメニュー画面で設定された値が保持されます。
- デジタルズーム領域で設定したズーム位置は、「モードメモリ」の「ズーム位置」をオンにしても保存されません。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

2　十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

「モードメモリ」メニューが表示されます。

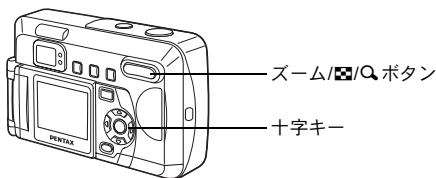
4　十字キー（▲▼）で「項目」を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

6　OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

画像を再生する

SDメモリーカード／マルチメディアカードをセットしているときは、カードに記録された画像が再生されます。
カードをセットしていないときは、カメラの内蔵メモリに記録された画像が再生されます。

静止画を再生する

操作方法は「画像を再生する」(p.24)、「前後の見たい画像を再生する」(p.25) をご覧ください。

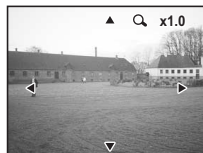
拡大して再生する

再生する画像を12倍まで拡大表示できます。拡大中は液晶モニタにガイドが表示されます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

2　ズーム/⊞/🔍ボタンの♠/🔍を押す

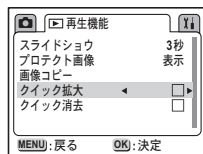
画面が大きく（1倍～12倍）表示されます。押し続けると、連続的に大きさが変わります。

- **拡大表示中にできる操作**
  十字キー（▲▼◀▶）　拡大位置を移動する
  ズーム/⊞/🔍ボタン（♠）　画像を大きくする
  ズーム/⊞/🔍ボタン（♠♠♠）画像を小さくする

3　シャッターボタンを半押しする

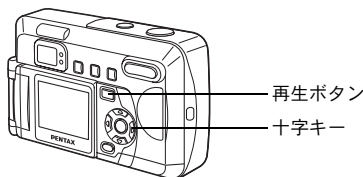
撮影できる状態になります。

動画は拡大表示できません。

クイック拡大をオン／オフする

クイック拡大をオンに設定すると、拡大再生時、ズームボタン（🔍）を押すたびに、1倍、2倍、4倍、8倍、12倍で拡大表示されます。

1 「▶再生機能」メニューの「クイック拡大」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

3 OKボタンを押す

動画を再生する

動画を再生します。再生中は液晶モニタに操作ガイドが表示されます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

再生が開始します。

- **再生中にできる操作**
  十字キー（◀）　逆方向に再生する
  十字キー（▶）　順方向に再生する
  十字キー（▲）　一時停止する

- **一時停止中にできる操作**
  十字キー（◀）　コマ戻しする
  十字キー（▶）　コマ送りする
  十字キー（▲）　一時停止を解除する（再生する）

3　十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

4　再生ボタンを押す

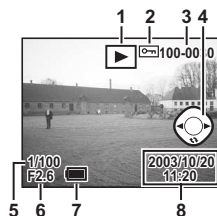
撮影モードに切り替わります。

再生時の情報を表示する（ディスプレイモード）

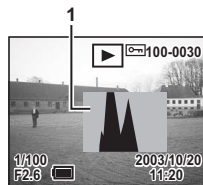
再生時の情報を液晶モニタにオーバーレイ表示できます。OKボタンで表示される情報を切り替えます。

通常表示

撮影時の情報を表示します。

1 再生モード　2 プロテクトマーク
3 ファイル番号　4 操作ガイド
5 シャッター速度　6 絞り値
7 バッテリーマーク　8 撮影日時
※操作ガイドは、再生モードに切り替えてから2秒間だけ表示されます。

ヒストグラム表示

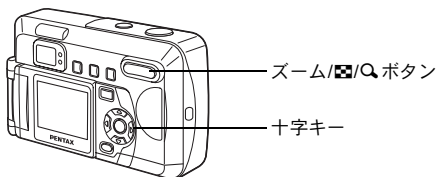
画像の明度分布を表示します。
横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1 ヒストグラム

情報表示なし

撮影時の情報を表示しません。

通常表示

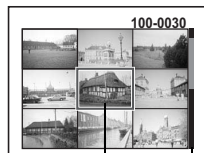
再生モードでは、液晶モニタをオフにはできません。

5 再生・消去

9画像ずつ表示する

撮った画像を一つの画面に9枚まで同時に表示できます。

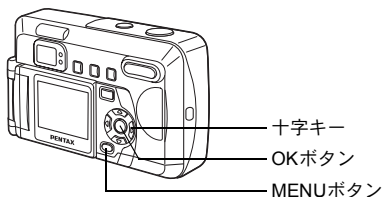
1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で画像を選ぶ

2　ズーム/⊞/🔍ボタンの♣♣♣/⊞を押す

画像が小さなコマで一度に9コマまで表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で画像が選べます。
画面右端にスクロールバーが表示されます。最下行の画像を選択しているときに十字キー（▼）を押すと、次の9画像が表示されます。

3　ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞/🔍を押す

選択した画像が1枚表示されます。
動画は、1コマ目の画像が表示されます。

プロテクトされた画像が「非表示」に設定されている場合（P.78、79）、その画像は詰めて表示されます。

5
再生・消去

スライドショウで連続再生する

SDメモリーカード／マルチメディアカードに保存された全画像を連続して再生します。
カードをセットしていないときは、内蔵メモリに保存された全画像を連続して再生します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2　MENUボタンを押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。

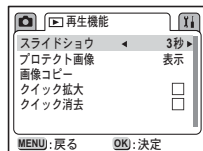
▶再生機能
スライドショウ　◀　3秒▶
プロテクト画像　表示
画像コピー
クイック拡大　□
クイック消去　□
MENU：戻る　OK：決定

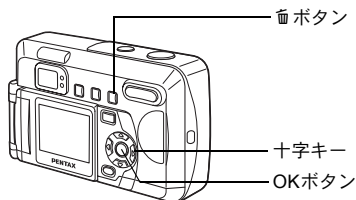
3　十字キー（▲▼）で「スライドショウ」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で再生時間を切り替える

3秒、5秒、10秒、15秒、20秒、30秒から選択できます。

5　OKボタンを押す

設定した時間で再生が開始します。

- 連続再生中に十字キーやMENUボタンなどのボタンを押すと、スライドショウが停止します。
- スライドショウは、ボタンを押して停止させるまで繰り返します。
- 動画は、設定した再生間隔にかかわらずすべて再生されてから、次の再生に移ります。

画像を消去する

1画像ずつ消去する

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像を選ぶ

2　🗑ボタンを押す

消去画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

- 画像の消去は、クイックビュー（p.23）で画像表示中に行なうこともできます。
- プロテクト（O┳）されている画像は、消去できません。ただし、「非表示」設定されているプロテクト画像は消去されます。

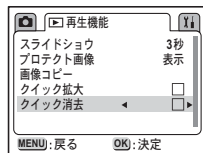
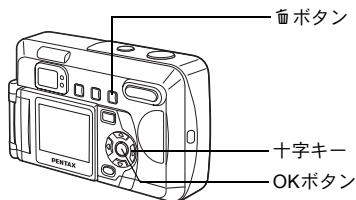
クイック消去をオン／オフする

クイック消去をオンに設定すると、1画像消去の場合、「消去」が選択された状態で消去画面が表示されます。

1　「▶再生機能」メニューの「クイック消去」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

3　OKボタンを押す

5 再生・消去

まとめて消去する

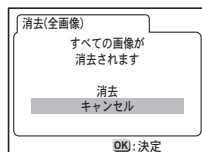
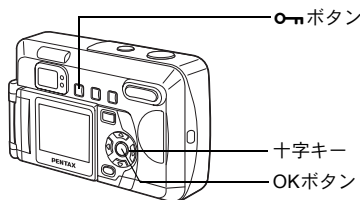
保存されている全画像を消去します。

- 消去した画像は復元ができません。
- プロテクトされている画像は消去できません。ただし、「非表示」設定されているプロテクト画像は消去されます。
- SDメモリーカード／マルチメディアカードをセットしているときは、カードに記録されている画像のみが消去されます。

1　再生モードに入り、🗑 ボタンを2 回押す

全画像消去画面が表示されます。

2　十字キー（▲）で「全画像消去」を選ぶ

3　OKボタンを押す

消去できないようにする（プロテクト）

画像を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。また、プロテクトした画像を再生表示できないようにすることができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプロテクトする画像を選ぶ

2　O‑ₙボタンを押す

プロテクト画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

4　OKボタンを押す

- プロテクトを解除するには、3で「解除」を選びます。
- プロテクトされた画像には、再生時にO‑ₙが表示されます。

5 再生・消去

全画像をプロテクトするには

1　再生モードに入る

2　O-πボタンを2回押す

全画像プロテクト画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

4　OKボタンを押す

手順3で「解除」を選ぶと、全画像のプロテクト設定が解除されます。

- プロテクトされた画像も、SD メモリーカード／マルチメディアカードや内蔵メモリをフォーマットすると消去されます。
- SDメモリーカード／マルチメディアカードをセットしているときは、カードに記録されている画像のみがプロテクトされます。

プロテクトした画像を再生表示しないようにする

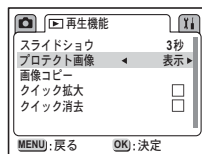
プロテクトしたファイルを再生表示するか／しないかの設定を行います。

1　「▶再生機能」メニューの「プロテクト画像」を選ぶ

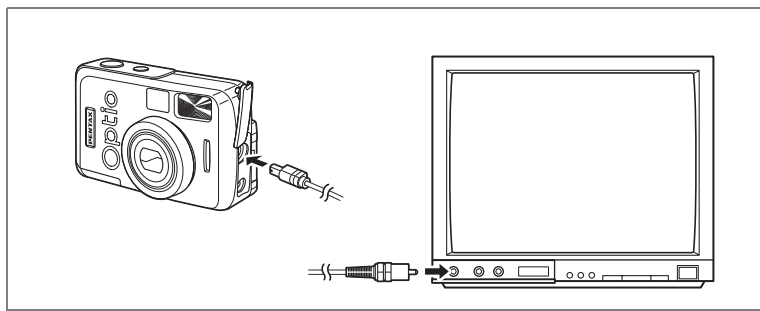
2　十字キー（◀▶）で「表示」「非表示」を切り替える

表示　　プロテクトしたファイルは再生表示されます。

非表示　プロテクトしたファイルは再生表示されません。

▶再生機能
スライドショウ　3秒
プロテクト画像　◀　表示▶
画像コピー
クイック拡大　□
クイック消去　□
MENU：戻る　OK：決定

3　OKボタンを押す

- 「非表示」設定した画像を表示させるには、「詳細設定」メニューの「リセット」で設定をリセットします（p.94）。
- 「非表示」設定した画像がある時に「全画像消去」すると、その画像も一緒に消去されます。「全画像消去」を行う場合は、一旦、設定をリセットして非表示の画像があるか、必ず確認してください。

テレビで画像を見る

ビデオケーブルを使用すると、テレビなどビデオ入力端子を備えた機器をモニタにして、撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

1 端子カバーを開き、ビデオケーブルを接続する

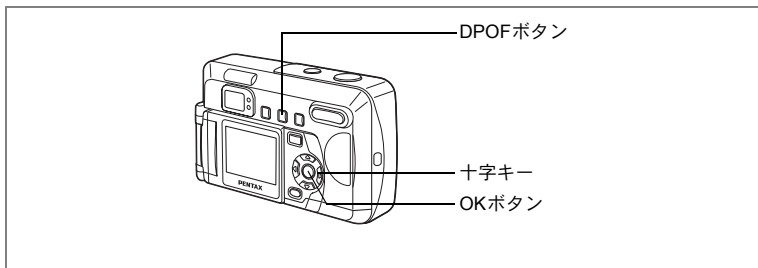
2 ビデオケーブルのもう一方の端子を、テレビの映像入力端子に接続する

3 テレビとカメラの電源を入れる

ビデオ出力方式を選択する☞ p.92

メモ テレビに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります。長時間使用するときは、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。テレビ等接続する機器の使用説明書もご覧ください。

プリントサービスの設定をする（DPOF）

SDメモリーカード／マルチメディアカードに保存した画像は、DPOF (Digital Print Order Format) 対応プリンタやラボプリントサービスでプリントできます。

1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。

●枚数:プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
●日付:プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプリント指定する画像を選ぶ

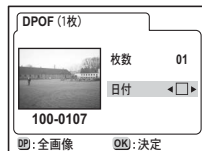
2　DPOFボタンを押す

DPOF画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定し、十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

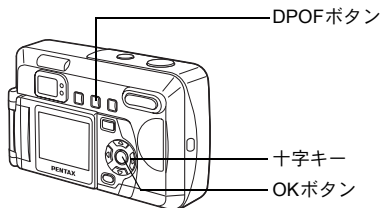
4　十字キー（◀▶）で日付の☑と□を設定する

☑ プリントに日付を入れます。
□ プリントに日付を入れません。

5 再生・消去

5　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。

- すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付のオン／オフが表示されます。
- DPOF を解除するには、枚数を「00」に設定して、OK ボタンを押します。

- 内蔵メモリ内の画像は、DPOF 設定ができません。SD メモリーカード／マルチメディアカードにコピー（p.84）したのち設定してください。
- 動画はDPOF設定ができません。
- プリンタやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で日付をオンにしても、プリントに日付が写し込まれない場合があります。

全画像を設定する

1　再生モードに入り、DPOFボタンを2回押す

DPOF画面が表示されます。

2　十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定する

99枚まで設定ができます。

DPOF（全画像）
すべての画像に対して
DPOF設定を行います
枚数　◀　01▶
日付　□
OK：決定

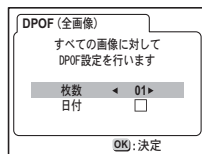
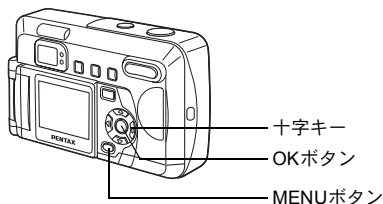
3　十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

4　十字キー（◀▶）で日付の☑と□を設定する

☑ プリントに日付を入れます。
□ プリントに日付を入れません。

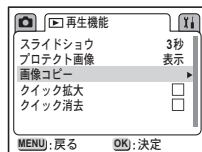
5　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。

- 全画像設定を行なうと、1画像ずつの設定は解除されます。
- 全画像設定でプリント枚数の指定をすると、すべてのコマに指定した枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。
- 内蔵メモリ内の画像は、DPOF 設定ができません。SD メモリーカード／マルチメディアカードにコピー（p.84）したのち設定してください。
- 動画はDPOF設定ができません。
- 全画像設定でプリント枚数を0枚に設定すると、DPOF設定は解除されます。

画像をコピーする

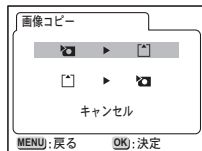
内蔵メモリとSDメモリーカード／マルチメディアカード間で画像をコピーします。あらかじめカードを入れておかないと、この機能は選択できません。
内蔵メモリからカードにコピーする場合は、すべての画像が一括してコピーされます。カードから内蔵メモリにコピーする場合は、1画像ごとに確認しながらコピーします。

1 「▶再生機能」メニューの「画像コピー」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

画像コピー画面が表示されます。ここでコピー方法を選択します。

内蔵メモリからカードにコピーする場合

3 「→」を選びOKボタンを押す

全てのファイルがカードにコピーされます。

カードから内蔵メモリにコピーする場合

3　「⎙→⎙」を選びOKボタンを押す

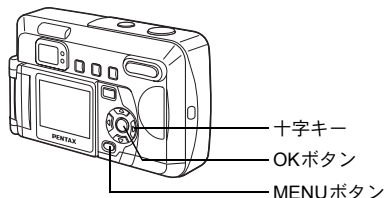
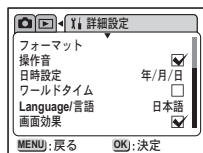
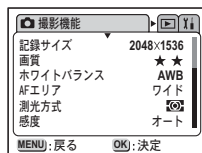
4　十字キー（◀▶）でコピーするファイルを選ぶ

5　OKボタンを押す

選んだファイルが内蔵メモリにコピーされます。

- SD メモリーカード／マルチメディアカードから内蔵メモリにコピーする場合、コピーするファイルは新しいファイル名に変更されます。
- SD メモリーカード／マルチメディアカードの挿入と取り出しは、必ず電源をオフにしてから行ってください。

カメラの設定をする

「⚒詳細設定」メニューの呼び出しかた

カード／内蔵メモリをフォーマットする

SDメモリーカード／マルチメディアカードに保存されているすべてのデータを消去します。
カードが入っていない場合は、内蔵メモリがフォーマットされます。

- SDメモリーカード／マルチメディアカードのフォーマット中は､カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- フォーマットを行なうと、プロテクトされた画像も消去されます。ご注意ください。

1 「⚒詳細設定」メニューの「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

フォーマット画面が表示されます。
非表示に設定されたプロテクト画像がある場合は右のようなメッセージが表示されます。

3　十字キー（▲）で「フォーマット」を選ぶ

4　OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影できる状態になります。

操作音をオン／オフする

操作音や動作音をオン／オフできます。

1　「詳細設定」メニューの「操作音」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

3　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

日付の表示スタイル・日付／時刻を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示形式を設定します。「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選べます。

1　「詳細設定」メニューの「日時設定」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

日時設定画面が表示されます。

日時の設定方法は「初期設定をする」（p.19）をご覧ください。

「🔧詳細設定」メニューの呼び出しかた

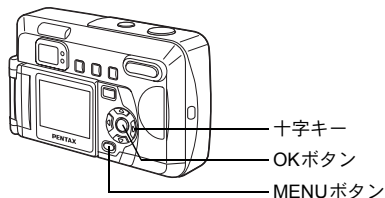
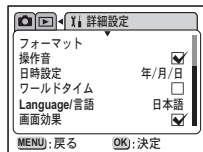
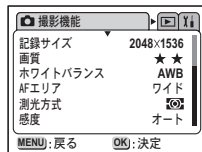
十字キー
OKボタン
MENUボタン

MENU

撮影機能	
記録サイズ	2048×1536
画質	★★
ホワイトバランス	AWB
AFエリア	ワイド
測光方式	
感度	オート

MENU：戻る　OK：決定

詳細設定	
フォーマット	
操作音	☑
日時設定	年/月/日
ワールドタイム	□
Language/言語	日本語
画面効果	☑

MENU：戻る　OK：決定

ワールドタイムを設定する

「初期設定をする」(p.19) で設定した日時は、「ホームタイム」(通常使用する国・地域の日時)として設定されます。
「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用する際、液晶モニタに設定した国・地域の日時で表示できます。

1　「🔧詳細設定」メニューの「ワールドタイム」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

ワールドタイム設定画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）で☑と□を切り替える

☑ ワールドタイムで選択した国・地域の時刻表示になります。

□ ホームタイムで選択した国・地域の時刻表示になります。

4　十字キー（▼）を押す

ワールドタイムを設定します。
はじめに東京がワールドタイムの対象地域として選択されます。このとき、世界地図上の東京の位置が点滅表示し、✈の「都市」には東京の記号名（TYO）と現地時刻が表示されます。

5　十字キー（◀▶）でワールドタイムの都市を選び、十字キー（▼）を押す

6　十字キー（◀▶）で「夏時間」のオン（☑）／オフ（□）を切り替え、十字キー（▼）を押す

ホームタイムを設定します。
はじめに東京（TYO）がホームタイムの対象地域として選択されます。
十字キー（◀▶）でホームタイムの都市や、「夏時間」のオン／オフを変更できます。

7　OKボタンを2回押す

設定した都市の日時で撮影または再生できる状態になります。

指定できる都市および都市の記号名については、p.95をご覧ください。

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。

1　「🔧詳細設定」メニューの「Language/言語」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

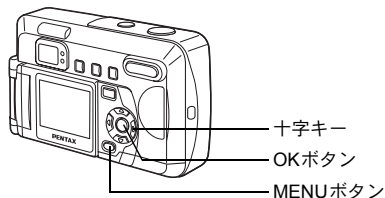
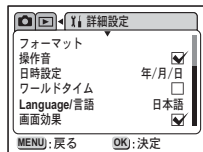
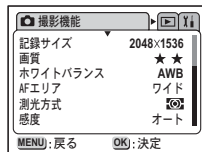
Language/言語設定画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼）で言語を選ぶ

4　OKボタンを押す

設定した言語でメニュー画面が表示されます。

5　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

画面効果機能を使う

液晶モニタの表示を切り替えるときに、割り込みなどのアニメーション効果で表示させることができます。

1 「詳細設定」メニューの「画面効果」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

背景色を設定する

液晶モニタに表示される背景のデザインおよび色を設定します。

1 「詳細設定」メニューの「背景色」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

背景色画面が表示されます。

3 十字キー（◀▲▶▼）で背景色を選ぶ

4 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

6 設定

オートパワーオフ

一定時間操作しないときに、自動的に電源がオフになるように設定できます。

1　「Y詳細設定」メニューの「オートパワーオフ」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）で「3分」「5分」「オフ」を切り替える

3　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

スライドショウで再生しているとき、USB接続しているとき、および動画撮影中は、オートパワーオフは働きません。

液晶モニタの明るさを設定する

液晶モニタの明るさを設定できます。

1　「Y詳細設定」メニューの「LCDの明るさ」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

LCDの明るさ調整画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）で液晶モニタを見ながら、明るさを調整する

バーのスライダーが左に移動すると暗くなり、右に移動すると明るくなります。

4　OKボタンを2回押す

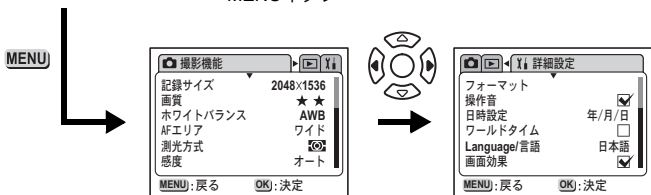
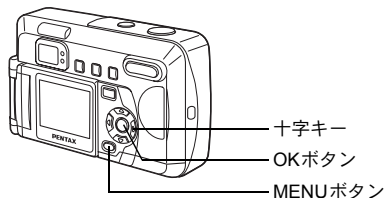
撮影または再生できる状態になります。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた

十字キー
OKボタン
MENUボタン

MENU

撮影機能
記録サイズ 2048×1536
画質
ホワイトバランス AWB
AFエリア ワイド
測光方式
感度 オート
MENU:戻る OK:決定

詳細設定
フォーマット
操作音
日時設定 年/月/日
ワールドタイム
Language/言語 日本語
画面効果
MENU:戻る OK:決定

ビデオ出力方式を選択する

テレビをモニタにして撮影や再生をするときの出力形式をNTSC方式とPAL方式から選べます。

1 「詳細設定」メニューの「ビデオ出力」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）でモニタにするテレビの出力方式に合わせて、「NTSC」「PAL」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

日本国内では、NTSC方式です。

起動／終了画面を変更する

カメラの電源を入れたときに表示される起動画面と、カメラの電源を切ったときに表示される終了画面を選ぶことができます。

1 「詳細設定」メニューの「画面設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

3　十字キー（▲▼◀▶）を押して、起動／終了画面として表示する画像を選ぶ

4　OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

十字キーにカスタム機能を設定する

撮影時に頻繁に使用する機能を十字キー（◀▶）に登録します。撮影時、撮影機能メニューを表示しなくても、十字キー（◀▶）を押すことで直接機能を設定することができます。

機能を登録する

1　「詳細設定」メニューの「カスタム機能」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）で登録する機能を選ぶ

3　OKボタンを押す

機能が登録され、撮影または再生できる状態になります。

- 十字キー（◀▶）に登録することができる機能は1つのみです。
- 登録できる撮影機能は11項目です。

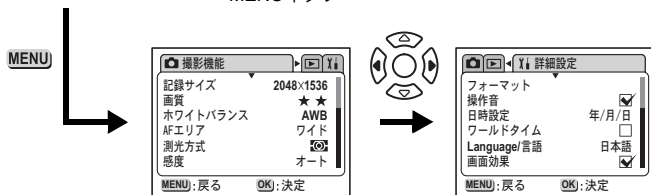
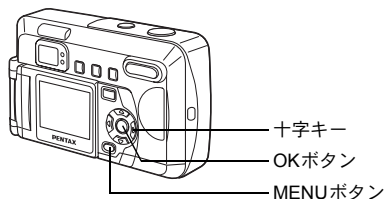
	露出補正	ISO	感度
	記録サイズ	Ⓢ	シャープネス
	画質		彩度
WB	ホワイトバランス	◑	コントラスト
AF	AFエリア		LCD反転
AE	測光方式		

- （LCD反転）を選ぶと、十字キー（▶）を押すごとに左右反転、十字キー（◀）を押すごとに上下反転で、液晶モニタに画像が表示されます。

機能を呼び出す

1　撮影モードで、十字キー（◀▶）を押す

カスタム設定した機能が呼び出されます。

MFモード時は十字キー（◀▶）がピント合わせに使用されるため、十字キー（◀▶）を押しても設定したカスタム機能は呼び出されません。

設定をリセットする

日時設定、Language/言語、ビデオ出力、ワールドタイム以外の設定内容をリセットします。

1 「詳細設定」メニューの「リセット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

リセット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ

4 OKボタン を押す

撮影または再生できる状態になります。

都市名一覧

ワールドタイムで指定できる都市、および都市の記号名です。

TYO	東京	JNB	ヨハネスブルグ
GUM	グアム	IST	イスタンブール
SYD	シドニー	CAI	カイロ
NOU	ヌーメア	JRS	エルサレム
WLG	ウェリントン	MOW	モスクワ
AKL	オークランド	JED	ジッダ
PPG	パゴパゴ	THR	テヘラン
HNL	ホノルル	DXB	ドバイ
ANC	アンカレジ	KHI	カラチ
YVR	バンクーバー	KBL	カブール
SFO	サンフランシスコ	MLE	マーレ
LAX	ロサンゼルス	DEL	デリー
YYC	カルガリー	CMB	コロンボ
DEN	デンバー	KTM	カトマンズ
MEX	メキシコシティ	DAC	ダッカ
CHI	シカゴ	RGN	ヤンゴン
MIA	マイアミ	BKK	バンコク
YTO	トロント	KUL	クアラルンプール
NYC	ニューヨーク	VTE	ビエンチャン
SCL	サンティアゴ	SIN	シンガポール
CCS	カラカス	PNH	プノンペン
YHZ	ハリファックス	SGN	ホーチミン
BUE	ブエノスアイレス	JKT	ジャカルタ
SAO	サンパウロ	HKG	香港
RIO	リオデジャネイロ	PER	パース
MAD	マドリッド	BJS	北京
LON	ロンドン	SHA	上海
PAR	パリ	MNL	マニラ
MIL	ミラノ	TPE	台北
ROM	ローマ	SEL	ソウル
BER	ベルリン	ADL	アデレード

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

カードの空き容量がありません 内蔵メモリの空き容量がありません	SDメモリーカード／マルチメディアカードまたは内蔵メモリに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。新しいSDメモリーカード／マルチメディアカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.15、p.76） 画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。（p.42、p.43）
画像がありません	SDメモリーカード／マルチメディアカードまたは内蔵メモリに再生できる画像が保存されていません。また、すべての画像がプロテクトされ、かつプロテクトした画像を再生表示しないように設定しています。（p.79）
この画像を表示できません	このカメラでは再生できない画像を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
電池容量がなくなりました	電池残量がありません。新しい電池と交換するか、充電式電池の場合は充電器で充電してください。（p.12）
カードが異常です	SDメモリーカード／マルチメディアカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合もあります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカード／マルチメディアカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカード／マルチメディアカードがセットされています。（p.86）
設定を記録中です	画像のプロテクト設定やDPOF設定を変更しています。
フォーマット中	SDメモリーカード／マルチメディアカードまたは内蔵メモリをフォーマット中です。
消去中です	画像を消去しています。
フォルダが作成できません	最大のファイルNo.が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカード／マルチメディアカードをセットするか、SDメモリーカード／マルチメディアカードまたは内蔵メモリをフォーマットしてください。（p.15、p.86）
設定を正しく保存できませんでした	SDメモリーカード／マルチメディアカードに容量いっぱいのファイルが保存されていて、DPOFの設定がこれ以上できません。

画像を保存できませんでした	SDメモリーカード／マルチメディアカードの異常で撮影した画像が保存できませんでした
このカードは使用できません	このカメラでは使用できないメモリーカードがセットされています。（p.15）
SDカードがロックされています	SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチが「LOCK」側になっています。（p.17）
非表示設定の画像がありますが、フォーマットしますか？	フォーマットしようとしているSDメモリーカード／マルチメディアカードまたは内蔵メモリに、非表示に設定されているプロテクト画像があります。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	電池の入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください。電池室の⊕⊖表示にしたがって電池を入れなおしてください。(p.12)
	電池の残量がない	新しい電池をセットしてください。または、ACアダプタを使用してください。
液晶モニタに何も表示されない	液晶モニタがオフにセットされている	OKボタンを押すと、液晶モニタがオンになります。(p.40)
	テレビに接続している	テレビに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります（ビデオケーブルI-VC2がカメラに接続されている場合も同様です）。
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニタが表示されていても、確認しづらいことがあります。液晶モニタの明るさを設定しなおしてください。(p.91)
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボランプが赤色に点滅している間は、ストロボが充電中で撮影できません。充電が完了すると赤色に点灯します。
	SDメモリーカード／マルチメディアカードまたは内蔵メモリに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカード／マルチメディアカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.15、p.76)
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。一旦撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニタ中央の[　　　]（AFエリア）に、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、一旦撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを🌷にセットしてください（p.37）
	フォーカスモードが🌷になっている	フォーカスモードが🌷にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
ストロボで撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で、撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。
	背景が暗い	夜景など暗い背景で人物の写真を撮ると、人物は適正露出でも背景にはストロボの光がとどきませんので暗くなってしまうことがあります。バーチャルダイヤル画面で夜景ポートレートモードにセットして撮影すると、人物も夜景もきれいに撮ることができます。（p.57）
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	オートまたは⚡に設定してください。（p.39）
	撮影モードが動画にセットされているか、連続撮影、または▲モードに設定されている	これらのモードではストロボは発光しません。

7 付録

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	320万画素	
撮像素子	総画素数334万画素、原色フィルタ／インターラインドトランスファー1/2.7型CCD	
記録画素数	静止画	2048×1536ピクセル、1600×1200ピクセル、1024×768ピクセル、640×480ピクセル
	動画	320×240ピクセル
感度	オート、マニュアル（ISO100相当、ISO200相当、ISO400相当）	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2）、DCF準拠、DPOF対応、PRINT Image Matching II対応
	動画	AVI（Motion JPEG準拠）、約16フレーム／秒、音声なし
画質	S.ファイン、ファイン、エコノミー	
記録媒体	内蔵メモリ（約12MB）、SDメモリーカードおよびマルチメディアカード（MMC）	

撮影枚数

記録サイズ＼画質	S.ファイン	ファイン	エコノミー	動画（320×240）
2048×1536	約6枚	約12枚	約18枚	約65秒
1600×1200	約11枚	約20枚	約28枚	
1024× 768	約25枚	約47枚	約62枚	
640× 480	約57枚	約89枚	約119枚	

- 表の数値は16MBのSDメモリーカードを使用した場合の枚数

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯、マニュアル	
レンズ	焦点距離	5.8mm ～ 17.4mm（35mm フィルム換算：38 ～ 114mm相当）
	F値	F2.6～F5.0
	レンズ構成	5群6枚（両面非球面レンズ1枚使用）
	ズーム方式	電動式
	撮影範囲	38.7mm×28.7mmを画面一杯に撮影可能（テレ端でマクロモードおよびマニュアルフォーカス時）
	レンズバリア	電動式
デジタルズーム	撮影時：	最大約2.7倍（光学3倍ズームと合わせ、最大約8倍ズーム相当のズーム倍率）
ファインダー	方式	実像式ズームファインダー
	倍率	ワイド0.41×　テレ1.13×
液晶モニタ	1.6型TFDカラー液晶（バックライト／明るさ調整付）、7.2万画素、視野率約100％、回転機構付（左右180°、上下270°）	
再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大12倍）、スクロール、スライドショウ、ムービー再生	

オートフォーカス方式	方式	撮影素子によるTTLコントラスト検出方式、5点AF（ワイド／スポット切替可）
	撮影範囲（レンズ前面から）	ノーマル：0.4m～∞（ズーム全域） マクロ：0.1m～0.5m（ズーム全域） 遠景：∞（ズーム全域）
	フォーカスロック	シャッターボタン半押しによる
マニュアルフォーカス	0.1m～∞	
露出機構	測光方式	撮影素子によるＴＴＬ測光（分割、中央部重点、スポット）
	露出モード	プログラム、ピクチャーモード、夜景、動画、パノラマアシスト、デジタルフィルタ
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
	動画	SDメモリーカード：容量いっぱいまで マルチメディアカード：1動画30秒まで
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	速度	約1/2000秒～2秒
ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	オート、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減
	撮影範囲	ワイド　約0.2m～約5m（5.8ｍｍ・感度オート） テレ　　約0.1m～約2.7m（17.4ｍｍ・感度オート）
ドライブモード	1コマ撮影、連続撮影、セルフタイマー撮影	
セルフタイマー	電子制御式、作動時間：約10秒、約2秒	
時計機能	ワールドタイム設定、世界62都市に対応（28タイムゾーン）	
電源	単3型電池2本、（アルカリ、ニッケル水素、リチウム）、リチウム電池CR-V3、ACアダプタキット（別売）	
バッテリー寿命	約500枚	（ストロボ使用率50％；リチウム電池CR-V3を使用した場合） ※撮影可能枚数は当社撮影条件による目安です
入出力ポート	USB／ビデオ端子（PC通信方式USB1.1）、外部電源端子	
ビデオ出力方式	NTSC/PAL	
大きさ	108.5（幅）×64.5（高）×41.5（厚）mm（小突起除く）	
質量	175g（電池、SDメモリーカード／マルチメディアカード含まず）	
撮影時質量	225g（電池、SDメモリーカード／マルチメディアカード含む）	
付属品	単3形アルカリ乾電池（2本）、USBケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、ビデオケーブル、ストラップ、使用説明書（本書，PC接続編）、保証書	

別売りアクセサリー一覧

本機には、別売りアクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプタキット K-AC5J

USBケーブル I-USB2（同梱品）

ビデオケーブル I-VC2（同梱品）

カメラケース O-CC5

ストラップ O-ST5（同梱品）

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か当社のお客様相談センターまたは、お客様窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、直接お持ちください。修理品ご送付の場合は、化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に耐えるようしっかりと梱包してお送りください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社のお客様窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社のお客様窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、当社のお客様相談センターまたは、お客様窓口でお持ちの保証書と交換に発行いたします。[保証期間中のみ有効]

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。
TEL 0120-737-919（フリーダイヤル）TEL 03-3975-4314（携帯・PHS用）
（受付時間：土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く9：00～17：00）
インターネット受付
URL：http://www.pentax.co.jp/japan/p_menu/service/

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.co.jp/**

お客様相談センター（弊社製品に関するお問い合わせ）
〒174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
営業時間午前 9：00 ～午後 6：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）
0570-001313（市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話、PHS の方は、下記の電話番号をご利用ください。
☎03-3960-3200（代） **☎03-3960-0887** デジタルカメラ専用

［ショールーム・写真展・修理受付］

ペンタックスフォーラム **☎03-3348-2941（代）**
〒163-0401 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1 階（私書箱 240 号）
営業時間午前 10：30 ～午後 6：30（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

［修理受付］

ペンタックス札幌営業所お客様窓口 **☎011-612-3231（代）**
〒060-0010 札幌市中央区北 10 条西 18-36 ペンタックス札幌ビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス仙台営業所お客様窓口 **☎022-371-6663（代）**
〒981-3133 仙台市泉区泉中央 1-7-1 千代田生命泉中央駅ビル 5 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス名古屋営業所お客様窓口 **☎052-962-5331（代）**
〒461-0001 名古屋市東区泉 1-19-8 ペンタックスビル 3 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス大阪営業所お客様窓口 **☎06-6271-7996（代）**
〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス広島営業所お客様窓口 **☎082-234-5681（代）**
〒730-0851 広島市中区榎町 2-15 榎町ビュロー 1 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス福岡営業所お客様窓口 **☎092-281-6868（代）**
〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町 3-8 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

［宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ］

ペンタックスサービス（株）東日本修理センター **☎03-3975-4341（代）**
〒175-0082 東京都板橋区高島平 6-6-2 ペンタックス（株）流通センター内
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス（株）西日本修理センター **☎06-6271-7996（代）**
〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

for your
precious moments

ペンタックス株式会社
〒174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
ペンタックス販売株式会社
〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1

☆この説明書には再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57260 01-200310
Printed in Japan